

研究・調査報告書

報告書番号	担当
302	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Nursing students' work, a risk factor for the consumption of alcohol and other drugs. 看護学生の労働における飲酒やその他の薬の危険因子について	
執筆者	
Oliveira EB, Furegato AR.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Rev Lat Am Enfermagem. 2008 Jul-Aug;16 Spec No:565-71.	
キーワード	
看護、アルコール、抗不安薬、看護学生	
要 旨	
<p>目的： この記述的で、質的な研究は、労働環境においてアルコールと他の薬の消費の危険因子を明確にし、保護要因の重要性を確かめる事を目的とし実施された。</p> <p>対象と方法： リオデジャネイロ州立大学の51人の看護学生（都市の公共医療機関で仕事をしている）に対してインタビュー形式で実施された。</p> <p>結果： 学生たちは、アルコール、タバコと抗不安薬のような薬の消費の危険因子として、仕事を関連させた。</p> <p>まとめ： 参加型の仕事の方法が、学生の以前の経験、家族や生活集団、個々の性格が予防的なアプローチを取るにあたって非常に重要であることがわかった。これらの結果より予防的因子に注意を払うことが推奨される。</p>	